

【令和3年3月現在】

宮崎県における農業用ハウス強靱化緊急対策事業取組内容

【経緯】

本県は台風による施設園芸の被害を度々受ける地域であり、平成30年9月から10月に立て続けに接近した台風24、25号では、本県の農水産業関係の被害総額87億円と大きな被害を受けた。

今後の産地の安定供給を図るためには、災害に強い施設園芸産地づくりを進めることが必要不可欠であると判断した。

【宮崎県における農業用ハウスの状況(H28年)】

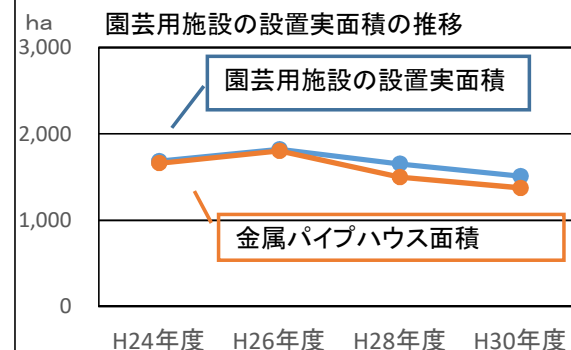
- ・農業用ハウス 1,653ha
- ・うちパイプハウス 1,499ha

【対策の内容】

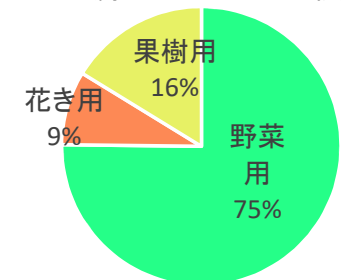
被害防止技術講習会等の開催、ハウス補強の実施、防風ネットの設置、非常用電源の共同利用

○具体的な取組内容(台風対策)

- ・筋交いによる取組
- ・タイバーによる補強
- ・作物荷重による補強
- ・換気扇による補強
- ・防風ネットによる補強 等



H30 金属パイプハウスの作物別割合



出典: 園芸用施設の設置等の状況(H30)

※金属パイプハウスは、一般的な農業用パイプハウスを指す。

【令和3年3月現在】

農業用ハウス強靱化緊急対策事業の取組概要

【宮崎県 宮崎市ハウス強靱化対策協議会】

1.地区の概要

- ・宮崎地区では、延べ面積約410haの農業用ハウスのうち、農業用ハウス強靱化緊急対策事業を活用し、30.75haの補強対策等を行った。
- ・課題は、台風の上陸・接近のたびに、倒壊など台風関連被害が発生しやすい。

2.取組内容、効果

【地区の概要】

- ・市内の農業用ハウス延べ面積約410ha（H28年）
- ・補強を実施したハウス面積 30.75ha

【取組内容】

- ・主な補強の方法：防風垣設置による補強、筋交いによる補強

【補強方法を選んだ理由】

- ・台風等自然災害発生時のハウス倒壊防止のため

【効果】

- ・耐風性の向上

3.今後の取組

- ・災害発生前に保守管理・災害対策を呼び掛けることのできる指導者の育成
- ・定期点検の実施および予防保全の取組み

4.補強の概要

補強名：筋交い設置



補強名：防風垣設置



【令和3年3月現在】

農業用ハウス強靱化緊急対策事業の取組概要

【宮崎県 宮崎市ハウス強靱化対策協議会】

1.地区の概要

- ・宮崎地区では、延べ面積約410haの農業用ハウスのうち、農業用ハウス強靱化緊急対策事業を活用し、30.75haの補強対策等を行った。
- ・課題は、台風の上陸・接近のたびに、倒壊など台風関連被害が発生しやすい。

2.取組内容、効果

【地区の概要】

- ・市内の農業用ハウス延べ面積約410ha（H28年）
- ・補強を実施したハウス面積 30.75ha

【取組内容】

- ・主な補強の方法：防風垣設置による補強、筋交いによる補強

【補強方法を選んだ理由】

- ・台風等自然災害発生時のハウス倒壊防止のため

【効果】

- ・耐風性の向上

3.今後の取組

- ・災害発生前に保守管理・災害対策を呼び掛けることのできる指導者の育成
- ・定期点検の実施および予防保全の取組み

4.補強の概要

補強名：筋交い設置



補強名：防風垣設置

